

○「農地を守る委員会活動についての意見交換」

(京都府京丹後市峰山地区定例会 令和元年10月)(第12回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年10月2日 午後5時～午後6時
- 場 所: 京丹後市大宮庁舎
- 出席者: 農業委員2人、最適化推進委員6人、委員以外:- (欠席農業委員1名)
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 地理的条件: 中山間地域で大きくは竹野川流域と鱒留川流域に別れた水田地帯で商業エリアと里山エリアに区分される。
- 農用地の特徴: 稲作主流の水田地帯、里山開発の畑地帯もあり
- 農業経営の状況: 水稻主流農家は小規模ながら機械装備があり自己完結型がほとんど。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業委員会定例会の審議案件の概要報告と意見書の内容報告
- 形状変更の届出に関する事務対応と農業委員の活動に関して意見交換
- 農地情報連絡調整会議の内容報告(農地利用状況調査結果の感想など)
-
-
-
-

4 活動結果

- 情報・意見交換 1 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援